

令和 7 年度アレルギー疾患対策事業計画について

1 協議会の開催

(1) 第1回福島県アレルギー疾患医療連絡協議会

日 時

令和7年9月1日(月)

内 容

ア 令和7年度アレルギー疾患対策事業計画について

イ 令和8年度アレルギー疾患対策事業計画の方向性について

(2) 第2回福島県アレルギー疾患医療連絡協議会

日 時

令和8年2月(予定)

内 容

ア 令和7年度アレルギー疾患対策事業実績について

イ 令和8年度アレルギー疾患対策事業(案)について

2 令和7年度福島県アレルギー疾患市民講座

(1) 継続通年動画配信

ア 内容

(ア) 大人の「ぜんそく」～どんな検査をするの? どんな治療をするの?～

(イ) アレルギー性鼻炎(花粉症)の治療について

(ウ) 食物アレルギーについて

(エ) アトピー性皮膚炎のスキンケアについて～毎日の習慣にしよう～

(オ) アレルギーを持つお子さんの保育所・幼稚園等の入園に向けて

(カ) アレルギーを持つお子さんの入学に向けて

(キ) 災害時の対応について

(ク) PAEと学ぶスキンケア～年齢別の対応方法～

(ケ) 食物アレルギーをもつ方の食生活が豊かになるために～食物経口負荷試験ってなに?～

(コ) クリニックPAEとしての活動と食物アレルギーの対応～家族で出来ることは?～

(サ) アトピー性皮膚炎の診断から最新治療まで

イ 開催方法

福島県ホームページにおいてYouTubeにて配信

ウ 周知方法

(ア) アレルギーを持つ子どもを育てる保護者を対象に、効果的に啓発動画を視聴いただくことができるよう、動画QRコードを掲載した「赤ちゃんの湿疹対策」を、母子手帳交付時等に配付し動画視聴につなげる。

(イ) アレルギーを持つ子どもを育てる保護者を支援する市町村保健師等を対象に、動画 PR チラシを研修等で配付し動画視聴につなげる。

(ウ) アレルギー疾患医療に関する基礎調査において、市民講座のチラシ設置に係る協力を得られた医療機関にチラシを配布する。

(2) 新規動画配信

ア 日時

動画の作成次第配信予定

イ 内容

小児の喘息について

ウ 講師

福島県立医科大学小児科学講座 久米 庸平先生

エ 開催方法

福島県ホームページにおいて YouTube にて配信

3 アレルギー疾患対策普及啓発事業

(1) 日時

通年

(2) 目的

既存の市民講座やパンフレット等をより活用し、アレルギー疾患の知識や治療法に関する正しい知識を県民に広く普及啓発する。

(3) 内容

- ・ラジオや新聞などを通して普及啓発活動
- ・大塚製薬の「赤ちゃんの湿疹対策」啓発冊子

4 (新) 市町村担当者向け研修会

(1) 目的

住民に身近な母子保健サービスの担い手である地域の母子保健関係職員等が、乳幼児等の発達や健康に影響を及ぼす課題である視覚や食物アレルギーについて、本県の現状や専門的知見を学ぶことで、今後の母子保健活動の充実を図ることを目的とする。

(2) 対象者 (参加者数：95名)

市町村及び県保健福祉事務所に勤務する保健師、栄養士、歯科衛生士、行政職等母子保健関係職員

(3) 開催時期

6月11日(水) 13:30～16:00

- (4) 講師
公益財団法人仁泉会 北福島医療センター眼科 八子 恵子先生
公益財団法人 星総合病院 小児科 佐久間 弘子先生
- (5) 開催方法
子育て支援課と連携し、母子保健指導者研修で実施。

5 保育園・幼稚園の先生向け研修会

- (1) 目的
アレルギー疾患に関する研修を行う
- (2) 対象者
保育園・幼稚園の先生
- (3) 開催時期
未定
- (4) 開催方法
子育て支援課が、既存研修の中で実施。

6 (新) アレルギー疾患災害対策強化事業

- (1) 目的
市町村や保健福祉事務所の職員が災害時におけるアレルギー対応の必要性について理解するとともに、避難所で起こりうるアレルギー関連の課題の整理及び実際に災害が起きた場合のアレルギー対策を踏まえた具体的な行動を学ぶため研修会を開催する。
- (2) 実施内容
 - ア 保健福祉事務所職員の視点と役割を考える
 - (ア) 日時
令和7年5月27日(火) 10:00～15:00
 - (イ) 場所
福島テルサ 3階 大会議室「あぶくま」
 - (ウ) 対象
各保健福祉事務所保健師、管理栄養士、歯科衛生士等
 - (エ) 講師
HUG のわ主宰 倉野 康彦氏
 - (オ) 内容
【資料2-2】のとおり

イ 能登半島地震等の災害から学ぶアレルギー対策

(ア) 日時

令和7年8月1日（金） 13：30～15：50

(イ) 場所

杉妻会館 牡丹

(ウ) 対象

市町村や各保健福祉事務所職員

(エ) 講師

宮城県立こども病院アレルギー科 三浦 克志先生

アレルギーを考える母の会 長岡 徹氏

(オ) 内容

【資料2-2、2-3】のとおり

ウ 平時から行う災害時のためのアレルギー対策

(ア) 日時

令和7年11月7日（金） 13：30～15：50

(イ) 場所

杉妻会館 牡丹

(ウ) 対象

市町村

(エ) 講師

宮城県立こども病院 アレルギー科 三浦克志先生

国立病院機構 災害医療センター 小早川 義貴先生

福島県立乳児院 七海智津子氏

(オ) 内容

【資料2-2】のとおり

7 アレルギー疾患医療中心拠点病院研修医師派遣

(1) 総合アレルギー研修について

ア 研修名

総合アレルギー研修

イ 対象者

アレルギー疾患拠点病院(福島県立医科大学附属病院) 1～2名

ウ 研修日程

令和7年4月にスケジュールが公開され、現在調整中

- エ 研修期間
1～2週間
- オ 研修場所
独立行政法人国立病院機構相模原病院

(2) (新) 総合アレルギー講習会について

- ア 研修名
総合アレルギー講習会
- イ 対象者
拠点病院医師で今後アレルギー専門医を取得予定がある医師 1名
- ウ 研修日程
2026年3月14日(土)～15日(日)
- エ 研修期間
2日間
- オ 研修場所
横浜(対面とWEB配信によるハイブリット開催)

8 アレルギー疾患対策従事者研修⇒1名派遣

- (1) 研修名
アレルギー疾患対策従事者研修
- (2) 対象者
都道府県等の自治体に勤務し、アレルギー疾患対策に係る保健師 1名
- (3) 研修日程
2025年9月18日(木)～9月19日(金) (1泊2日)
- (4) 研修期間
2日
- (5) 研修場所
国立保健医療科学院
- (6) 参加者
健康づくり推進課 厚海都花
- (7) 内容
 - ア アレルギー疾患に対する都道府県・市町村、拠点病院の役割、連携体制に関する取り組み
 - イ アレルギー疾患に対する災害時の取り組み

9 専門職向け研修会の開催（大塚製薬株式会社：主催、福島県：後援）（資料 2-4）

- （1）対象者
医師・メディカルスタッフ
- （2）研修日時
5月24日（土） 15：00～16：30
- （3）研修会場
郡山市労働福祉会館 大ホール（対面と WEB 配信によるハイブリット開催）
- （4）研修名
医師・メディカルスタッフのための小児アレルギー診療実践セミナー
（テーマ：アレルギー児の災害対策）
- （5）研修内容
小児科医、家族会、管理栄養士、行政のそれぞれの立場からアレルギー児の災害対策の課題や平時から行うことが望ましい備えや対策について学んだ。
- （6）講師
星総合病院 増山 郁先生（小児科部長、クリニカルシミュレーションセンター長）
いわき市アレルギーっ子交流会「もぐのび」 緑川 琴江氏（代表）
福島県立乳児院 七海 智津子氏
福島県 健康づくり推進課 穂住 響也

10 アレルギー疾患医療に関する基礎調査について【資料 2-5】

- （1）目的
福島県内のアレルギー疾患医療提供体制の現状を把握し、アレルギー疾患医療提供体制の整備、医療機関間のネットワークづくり及びアレルギー疾患を有する患者やその家族に対し情報提供する。
- （2）対象
アレルギー科、内科（呼吸器科、呼吸器内科を含む）、皮膚科、耳鼻咽喉科、小児科、眼科を標榜する医療機関（1063 医療機関）
- （3）内容
 - ① 医療機関名等
 - ② 医療機関に関する情報
 - ③ アレルギー疾患診療を行っている診療科目
 - ④ 診療可能なアレルギー疾患
 - ⑤ 日本アレルギー学会専門医の在籍（数）
 - ⑥ 小児アレルギーエデュケーター（PAE）の在籍（数）
 - ⑦ 学校生活管理指導表の記入
 - ⑧ 実施可能なアレルギー疾患に関する検査・治療等

- ⑨ 患者やその家族に対する講習会等の実施状況
 - ⑩ 自院又は県内の医療従事者の知識や技能向上に資する研修の実施状況
- (4) 新規追加項目について
- ・アレルギー性鼻炎の項目に舌下免疫療法を追加
 - ・オンライン市民講座のチラシ設置に係る協力可否